

好きやねん湖東

湖東地区

# まちづくり情報誌

第26号

おもいきりアートに挑戦!



## 「探検の殿堂」の なつやすみ特別企画

10m以上の大きな長い紙の上に、おもいきり描きたいものをぶつけてみよう!

という企画で行われました。子どもたちなど、約100名参加者は、楽しみながら、自分の思いを自由に表現していました。

# 光に癒され、自然に優しいエコナリエ 「コトナリエ サマーフェスタ 2007」



## 環境にやさしいイベントへ

- ・25万球のイルミネーションは、廃食油で点灯  
家庭から出る廃食油を回収し、菜の花館でBDF燃料に精製し、発電機を利用して電力を点灯しました。
- ・打ち上げ花火900発はエコ花火  
花火球の外皮を従来の紙から、約24時間で土に還元される生分解プラスチック使用の花火を打ち上げました。
- ・資源の有効利用  
イベント期間中に販売される飲物の容器は、アルミ缶・ペットボトル・土に還元される素材のもの以外は、販売禁止にしました。ゴミは分別し、リサイクルしました。
- ・シャトルバスの利用  
イベントの初日には、会場へのシャトルバスを運行することにより、交通量を減少させ、渋滞中の廃棄ガスの削減を行いました。
- ・グリーン購入  
印刷物などは、再生紙を使用するなど、エコマーク商品の購入を行いました。



会場の電飾は、ご家庭からの廃食油で作られたバイオディーゼル燃料で、この発電機によりまかなわれました。



家族づれなどが続々と...



屋台村も大にぎわい



佐合井 マリ子 さんのライブショー



皆さんにコトナリエ協力金を呼びかけました。

# この人を紹介

## 武田 義和 さん (湖東商工会青年部部長)

『やるからにはとことんやる!』をモットーとして、コトナリエをはじめ、アフリカへの救援衣糧や、研修・企画など、湖東地区で自営業を営む若者たちが、地域の活性化を目指して色々な活動をしているのが、湖東商工会青年部。その部長を務められているのが、武田義和さんです。

コトナリエでは、人集めや青年部の皆さんへの仕事の割り振りなど、苦労が多い中、縁の下をしっかりと支えてくださいました。実は、コトナリエの準備期間で6キロも痩せたのだとか・・・!

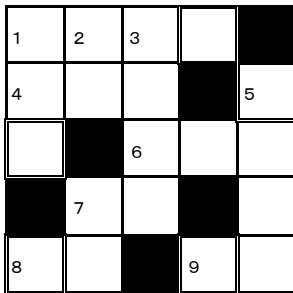
穏やかな物腰で、決して多くを語らないけれど、仲間と一緒に「どうすれば湖東地区を活性化できるか」、しっかりと考えておられるのが印象的でした。(早苗)



生年月日：S43. 6. 1(39歳)  
職業：自営業(工業用フィルター製造)  
趣味：アウトドア(車はもちろん四駆)  
湖東の好きなところ：のんびりしたところ

## チャレンジクイズだよ!

二重枠の文字を並べ替えてできる言葉は?



### タテ

- 1 冬の果物といえば
- 2 姑との仲は…?
- 3 運勢や未来を判断
- 5 汚れを拭き取る布
- 7 オーケストラの略

### ヨコ

- 1 ファミリーネーム
- 4 「はい、チーズ」
- 6 OOOより慣れる
- 7 兄弟姉妹の息子
- 8 突っ込み
- 9 OOも実力のうち



正解者には、粗品をプレゼントします。

応募方法： 官製はがき、FAXまたはメールで、答えとあなたの住所、氏名、電話番号を記入の上、東近江市 湖東支所 地域振興課内、湖東地区まちづくり協議会までお送り下さい。

締め切り： 9月10日(月) 必着

発表： 正解者多数の場合は、抽選の上、決定させていただきます。

### <編集・発行>

湖東地区まちづくり協議会

(事務局)

〒527-0113 東近江市池庄町505番地  
東近江市 湖東支所 地域振興課内  
TEL 45-3702 FAX 45-1570



### 掲示板

## ことう通学合宿ボランティア募集!

期間：平成19年9月26日～29日(期間中の1日だけでもOKです)

内容：参加児童の夕食準備、送迎、体験活動補助など

問合せ：湖東支所教育分室(高田) TEL 45-3711

主催：東近江市湖東地区地域協議会

## 今月のごちそう ちょうじふ 丁字麩

### 材料<4人分>

- 丁字麩 ……8~10個
- キュウリ ……1本
- 酢 ……大さじ3
- 砂糖 ……大さじ3
- みそ ……大さじ2
- 練りからし ……小さじ1
- いりごま ……大さじ1



### 作り方

- (1) 丁字麩は水に浸して充分もどし、2~3等分してかく絞る。
- (2) きゅうりは薄い小口切りにし、塩もみをしてしんなりしたら水気を絞る。
- (3) いりごまをすり、酢・砂糖・みそ・からしを入れよく混ぜる。
- (4) (1)(2)を、(3)であえる。

### 丁字麩の豆知識

戦国時代。八幡城主の豊臣秀次(豊臣秀吉の甥)は、天守閣から城下町を眺め、整然とした町並みの美しさを見てふと思立ち、「兵糧に栄養のある麩は欠かせないが、形が丸いのでかさばる。携帯しづらいと皆困っているから、眼下の町並みのように、角形にしろ」と指示したそう。というわけで、近江八幡の麩は角形になりました。丁字麩には両面に線が入っていますが、これは街の小路を示すもの。城下町に住む人々を忘れないようにするための印だといわれています。